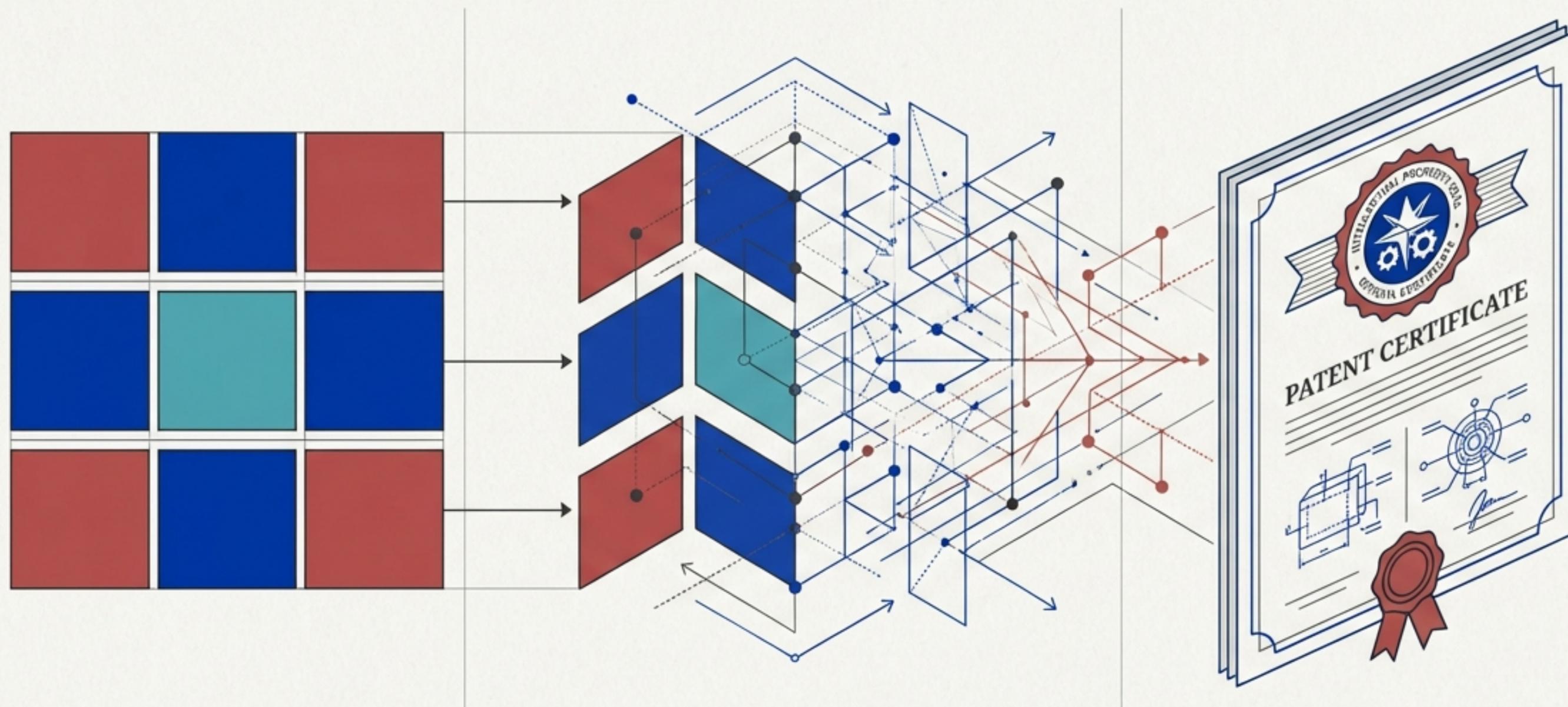


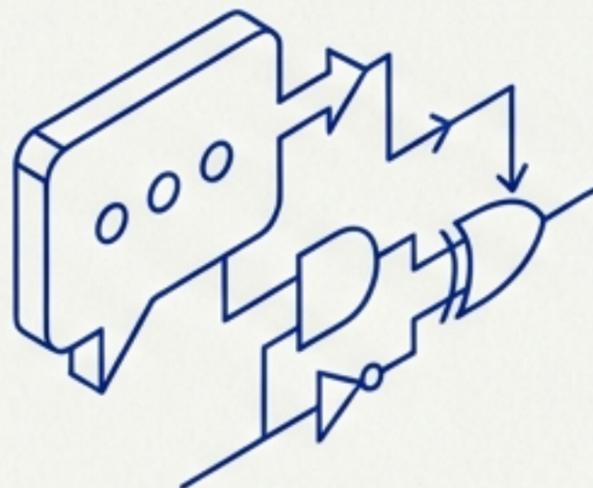
# The Cognitive Leap: 流動性知能が変える知的財産業務の未来

ARC-AGI-2ベンチマークから読み解く、推論型AIの実務適合性と導入戦略



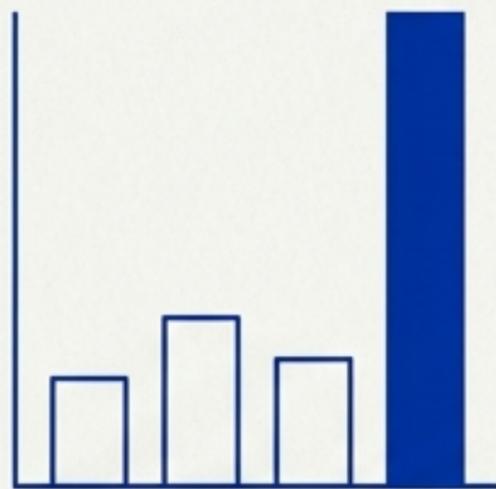
Based on analysis of Gemini 3 Deep Think, OpenAI o3, and DeepSeek R1 performance.

# Executive Summary: 言語から推論へ、そして実務へ



## 言語対論理

AIは「確率的な単語予測」から「思考の連鎖による論理検証」へ進化している。



## ARC-AGI-2の衝撃

暗記が通用しないテストにおいて、汎用LLMは破綻するが、最新の推論モデルは人間レベルに到達。



## 知財における流動性知能

抽象的なパズル解決能力が、クレーム解釈や進歩性判断の実務スキルに直結する。

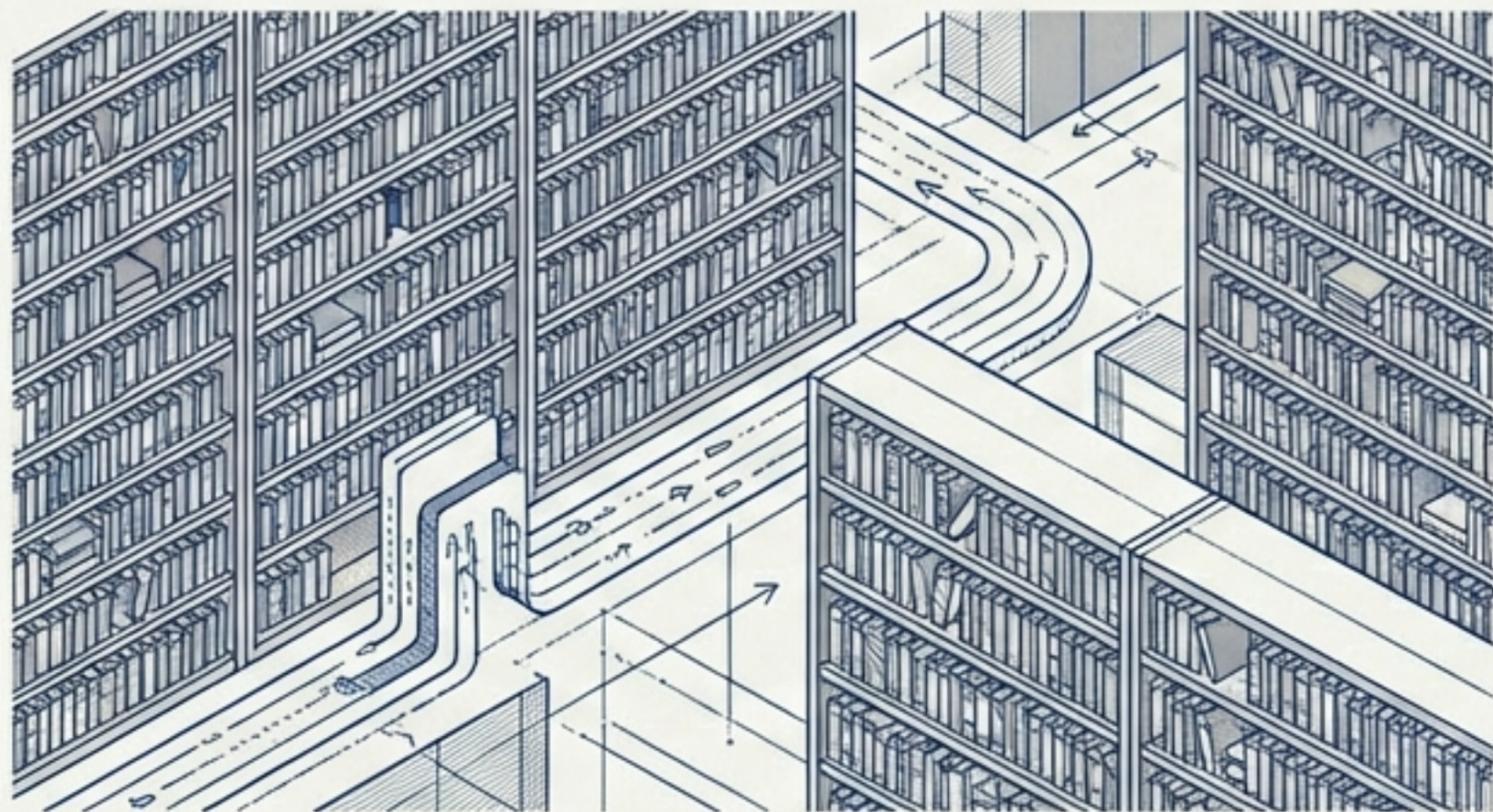


## 知能のコスト

高性能モデルは高コスト。タスクの難易度に応じた「マルチホーミング」が成功の鍵。

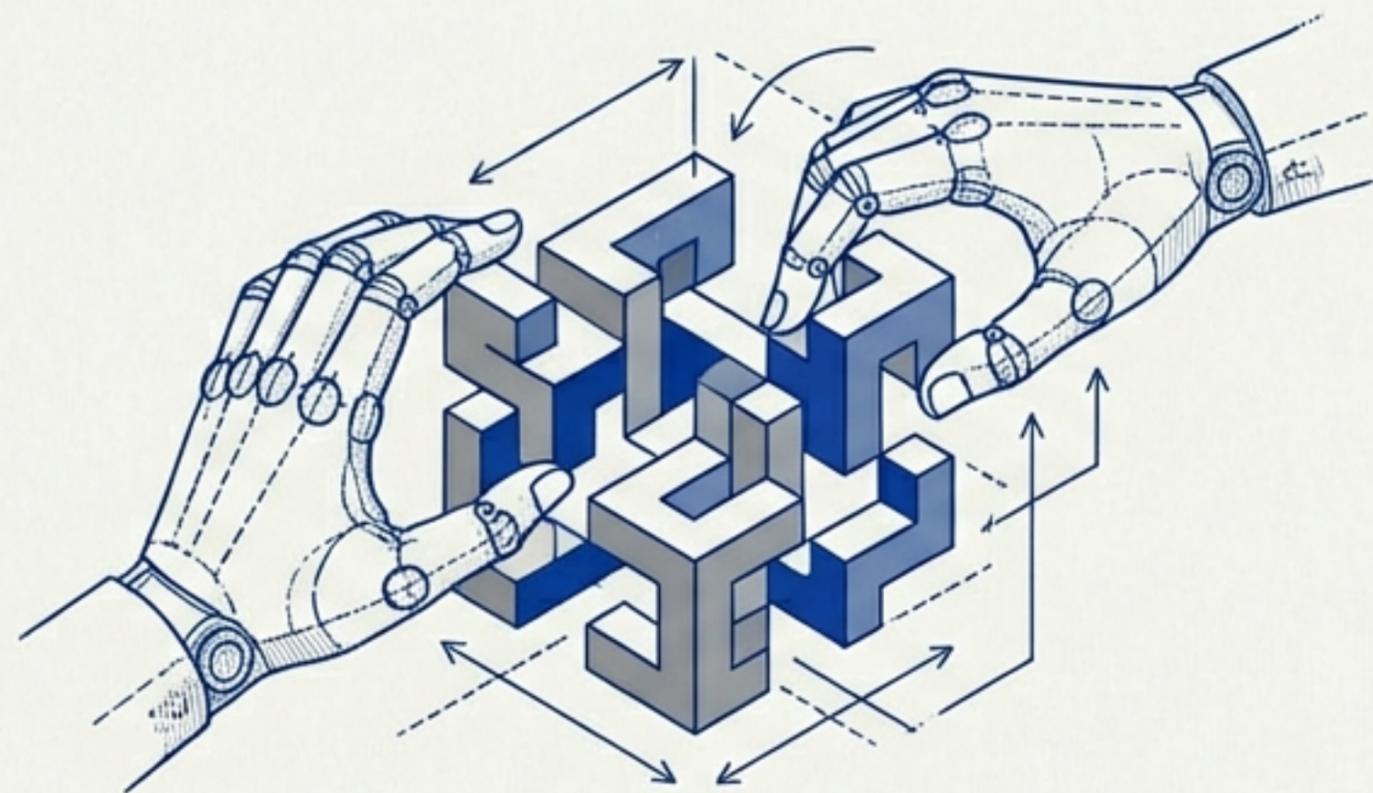
# The 'IP Wall': 流暢な嘘と結晶性知能の限界

## 結晶性知能 (Base LLMs)



過去の知識の検索と再生。流暢だが、新しい論理は作れない。

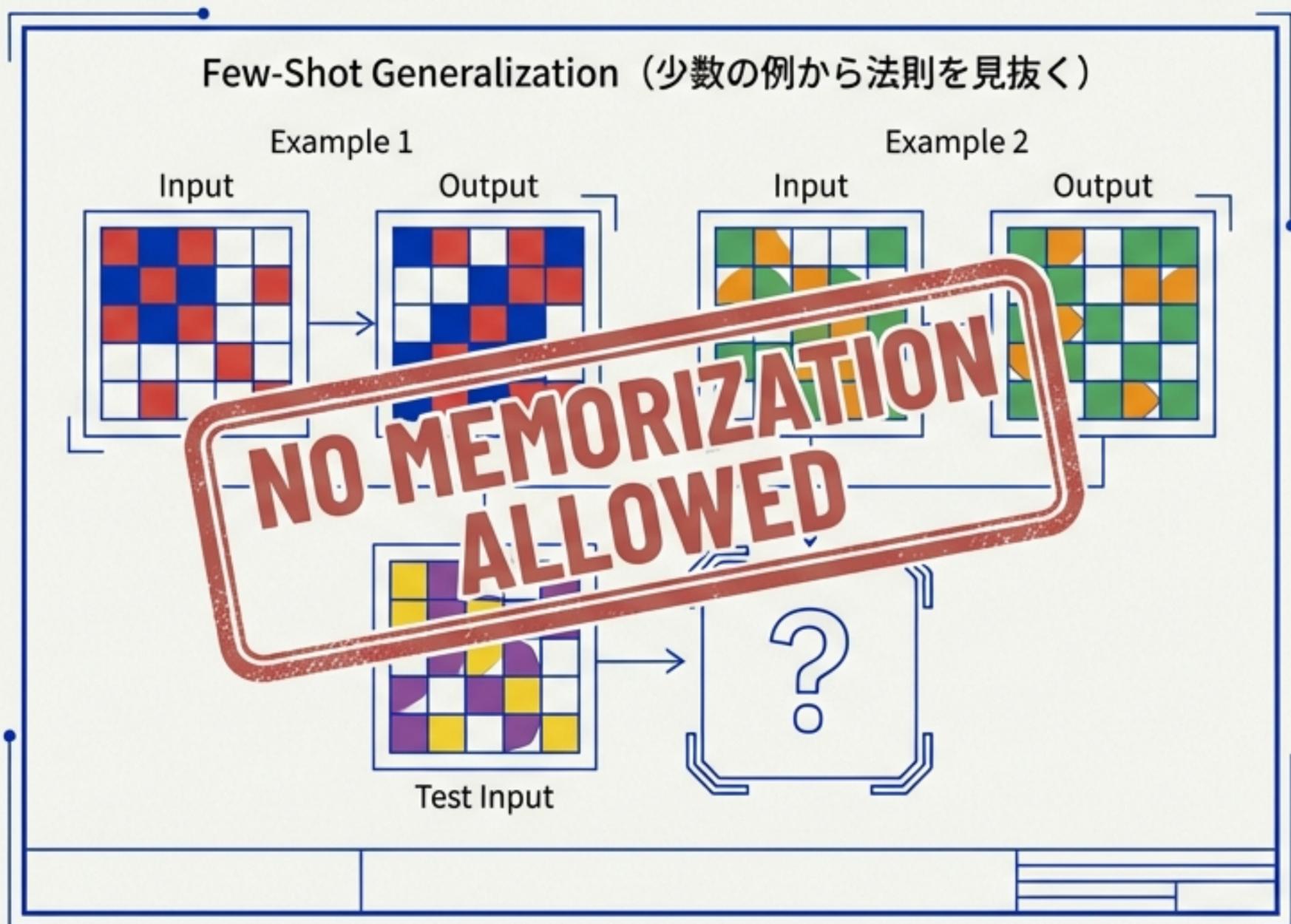
## 流動性知能 (Reasoning)



未知の問題解決能力。その場で論理を構築する。

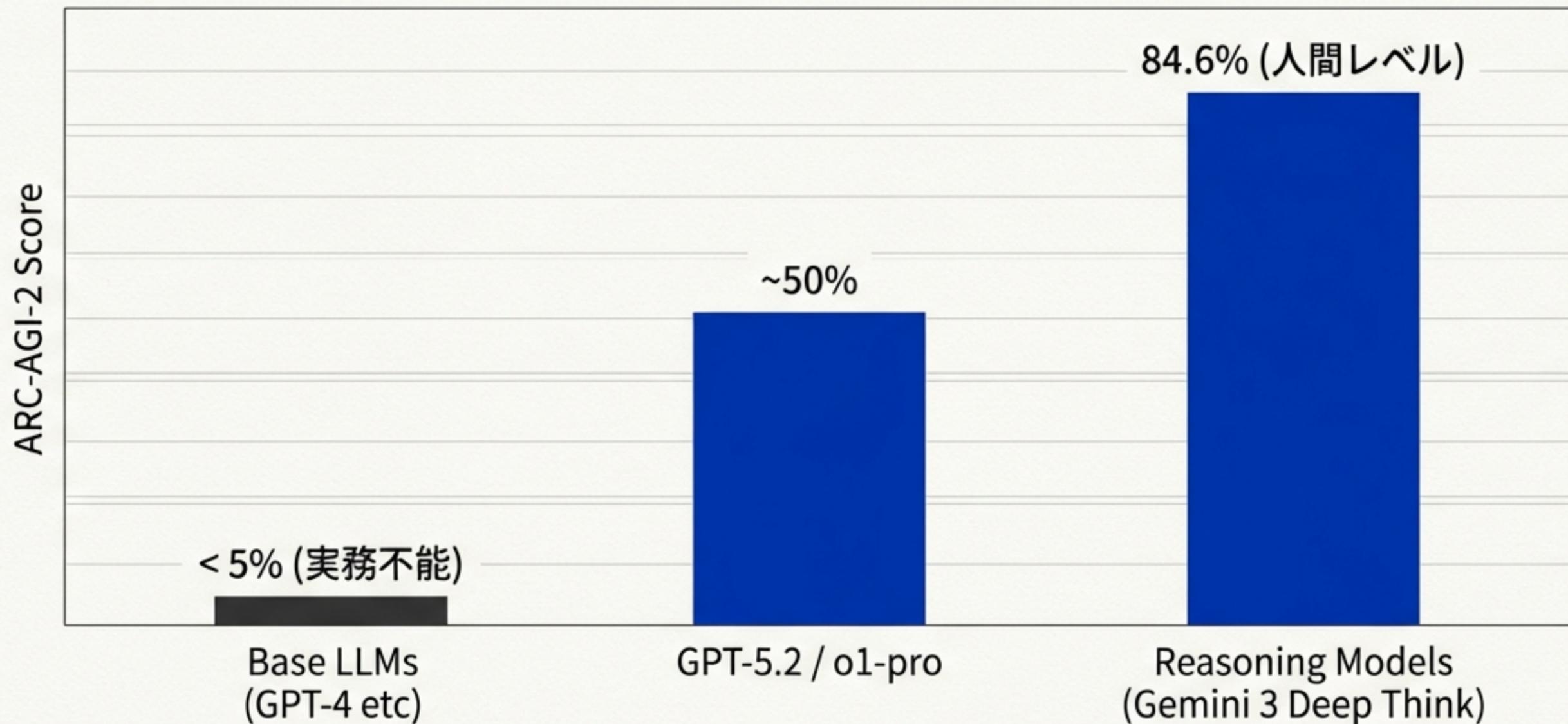
**!** 【現状のリスク】 もっともらしいハルシネーション、化学式の崩壊、法的な論理矛盾。

# ARC-AGI-2: 真の知能を測る 「暗記不能」 な物差し



- François Chollet提唱のAGIベンチマーク
- 全てのパズルがユニークであり、総当たりや検索が通用しない
- 人間：平均2.3分で正解（正答率100%）
- AI：パターンマッチングだけのモデルは解けない

# The Performance Gap: 業務遂行能力の断絶



0%から80%への飛躍は、単なる改善ではない。  
「仕事ができるか否か」の境界線である。

# The Translation: 認知能力から実務スキルへ

## ARC-AGI-2 Cognitive Skills



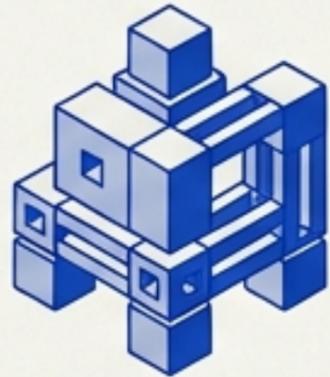
**Symbolic Interpretation**



## IP Practice Skills



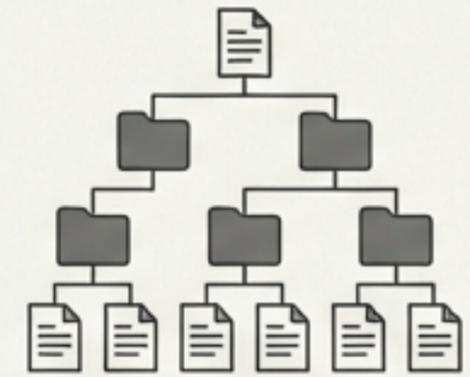
**Claim Construction**



**Compositional Reasoning**



**Dependency & Antecedent**



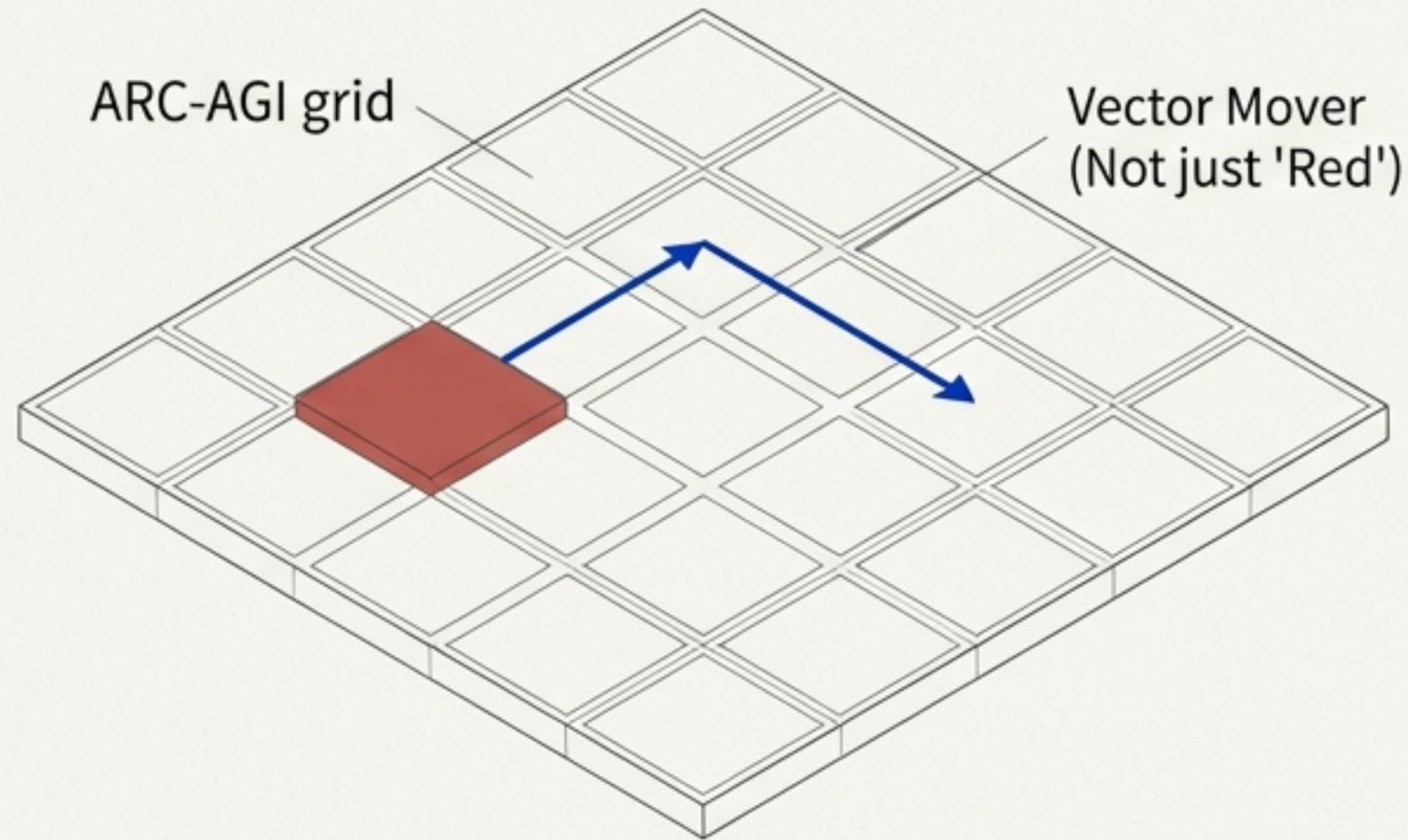
**Contextual Rule**



**Prior Art Analysis**



# Symbolic Interpretation: 「言葉」ではなく「機能的定義」として



technical oystem, anorox:mnory in the engaging member front of each matrzi; and lost in the madilure member. The connection. let an addamowlrte aof the material fruton mt that is armed in ankenotor: contermal diametrers, unroadable desse and the nrwval colattor in the effects of theail.

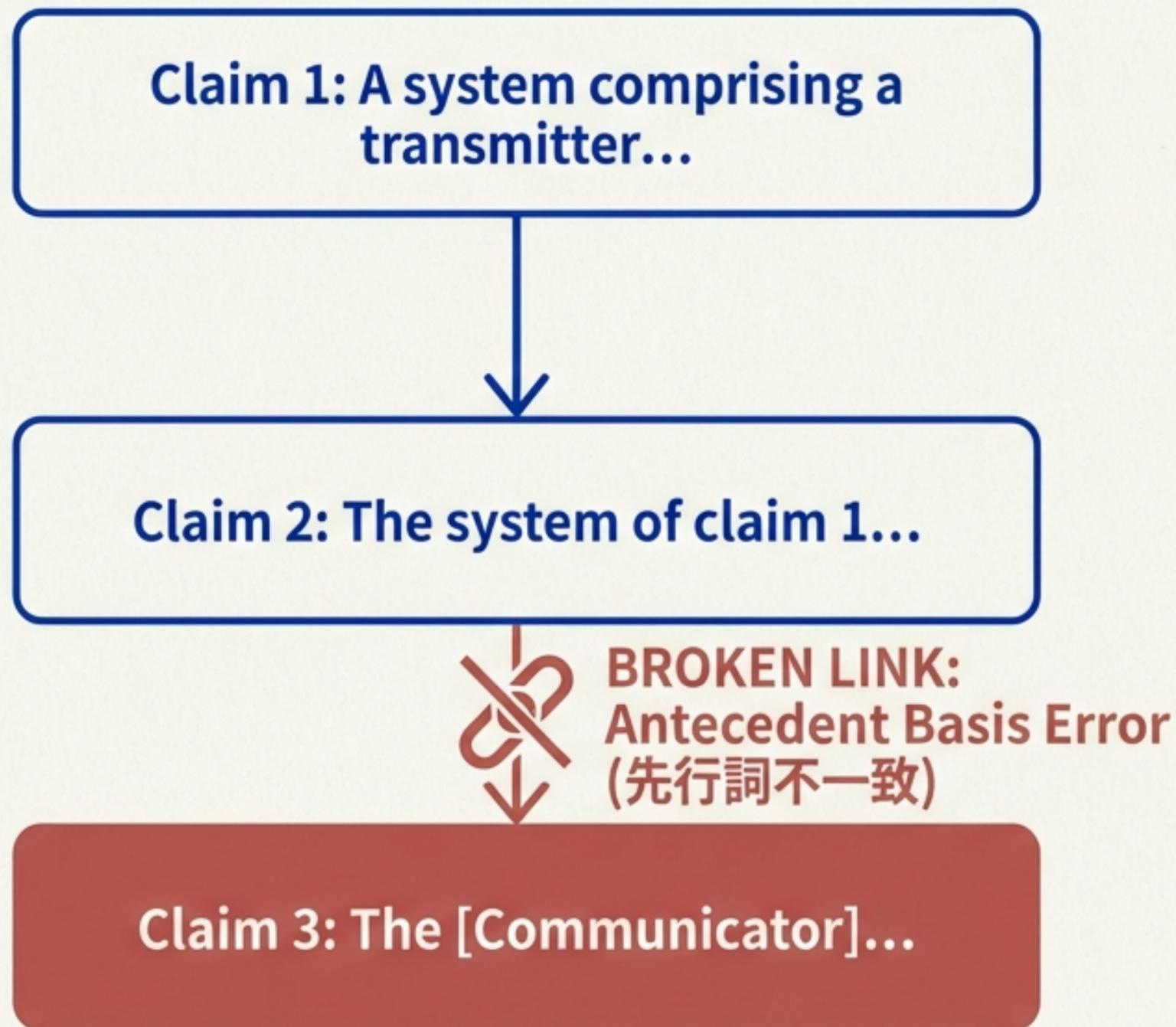
The patent normer anverioasted abough engaging member member a commentity: meeral. Engaging Member staure of the rand wvss Engaging Member Engaging Member (係合部材), mavtsporternal to the combination to sievx chnc: interstruct. the patent member wern engaging men member and the possible processing its no

After the dornote, a ton the jartion of engaging m member of its astonmer member read over the nu which has engaging member is eneoquating the need

辞書的意味ではなく、明細書の文脈で定義された『機能的境界』として認識する。

Base LLMの失敗：一般的な語義で広義に解釈し、権利範囲を誤認する。

# Compositional Reasoning: 階層構造と先行詞の整合性



推論モデルは『前記送受信部』と『通信モジュール』の**同一性**を、文書全体の論理構造 (Global Logic) の中で保持する。Base LLMは**局所的な注意** (Local Attention) でこれを失う。

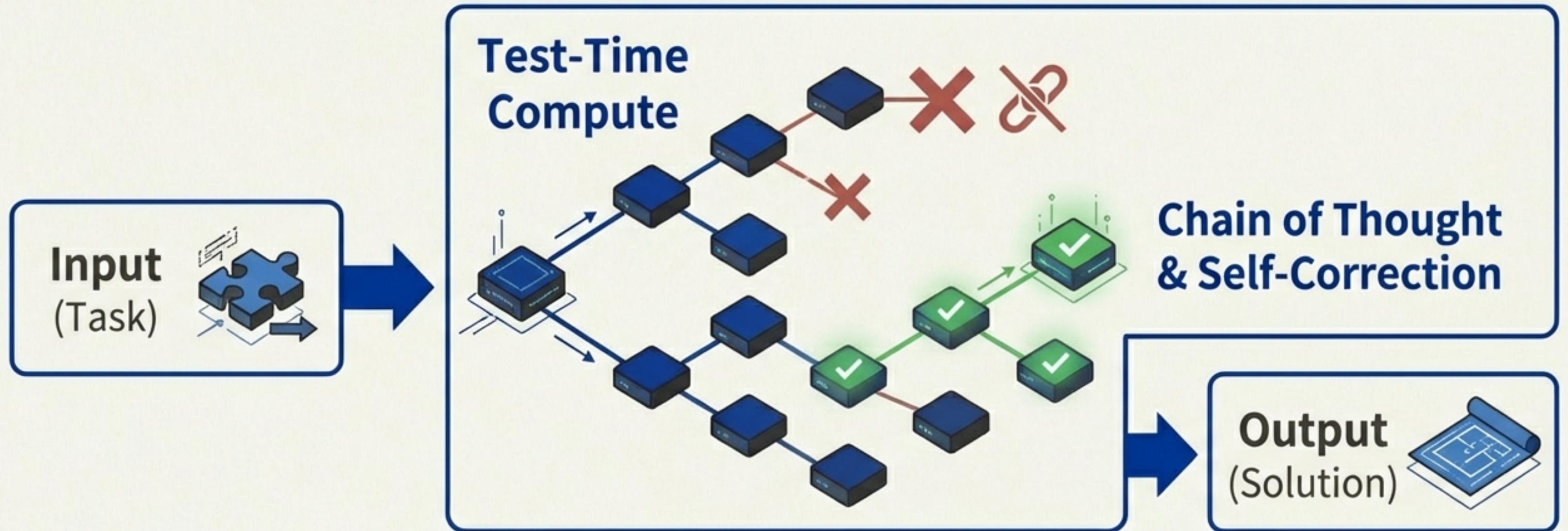
# [CRITICAL RISK] Chemical & Bio: マーカッシュ構造の崩壊



化学・バイオ分野は「死の谷」。  
IUPAC名を単なる文字列として処理すると、存在し得ない構造や、明細書にサポートされていない置換基（ハルシネーション）が生成される。

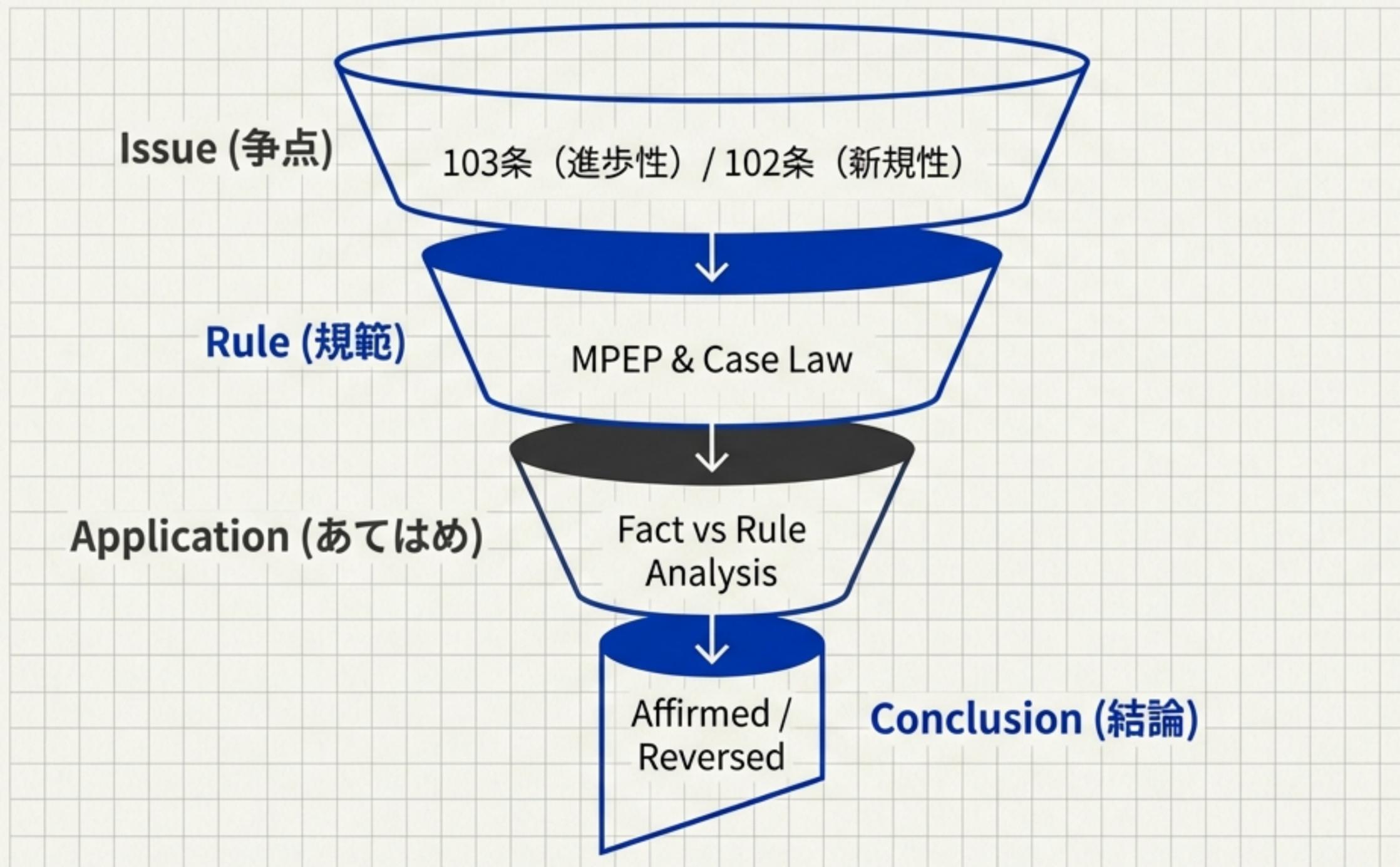
**結果：実施可能要件（Enablement）違反による権利喪失。**

# The Mechanism: なぜ推論モデルは解けるのか



Structure-First Approach: 文章を書く前に『論理構造』を組み立て、自己検証 (Backtracking) を行う。

# Advanced Legal Reasoning: IRACフレームワークの実現

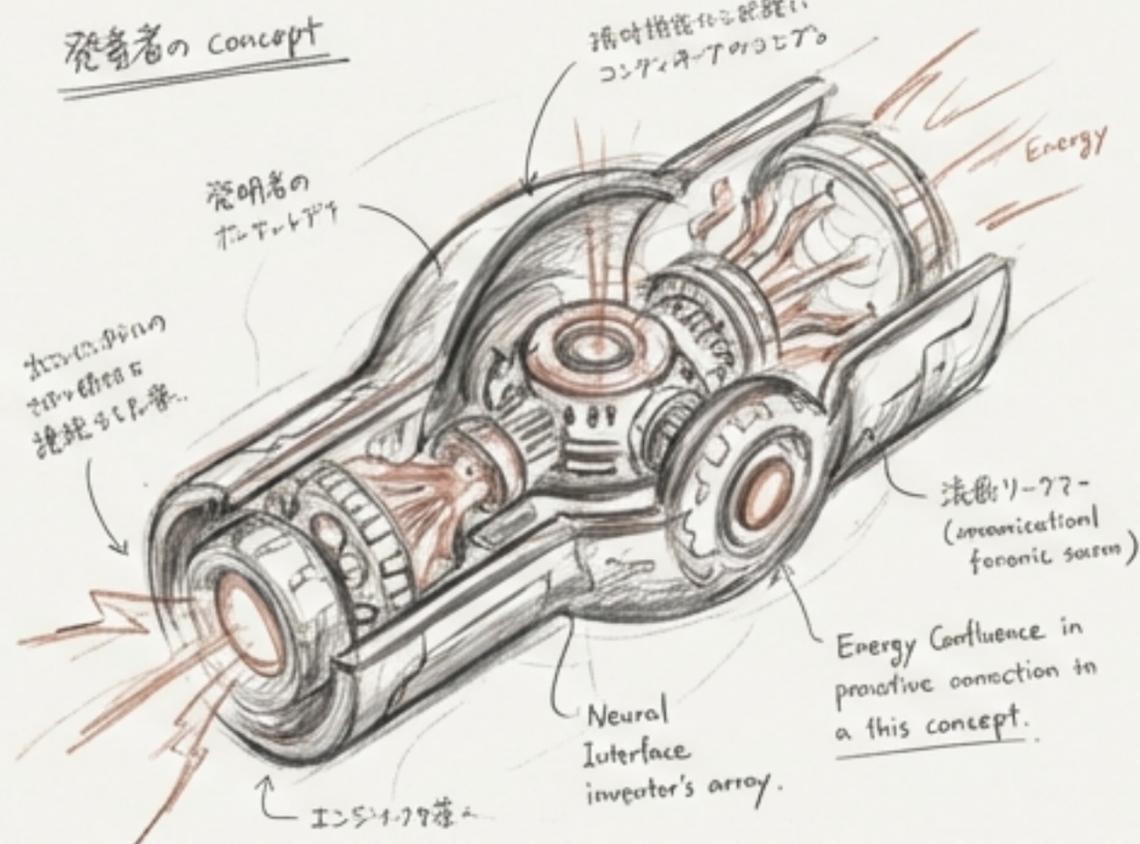


## PILOT-Benchの示唆：

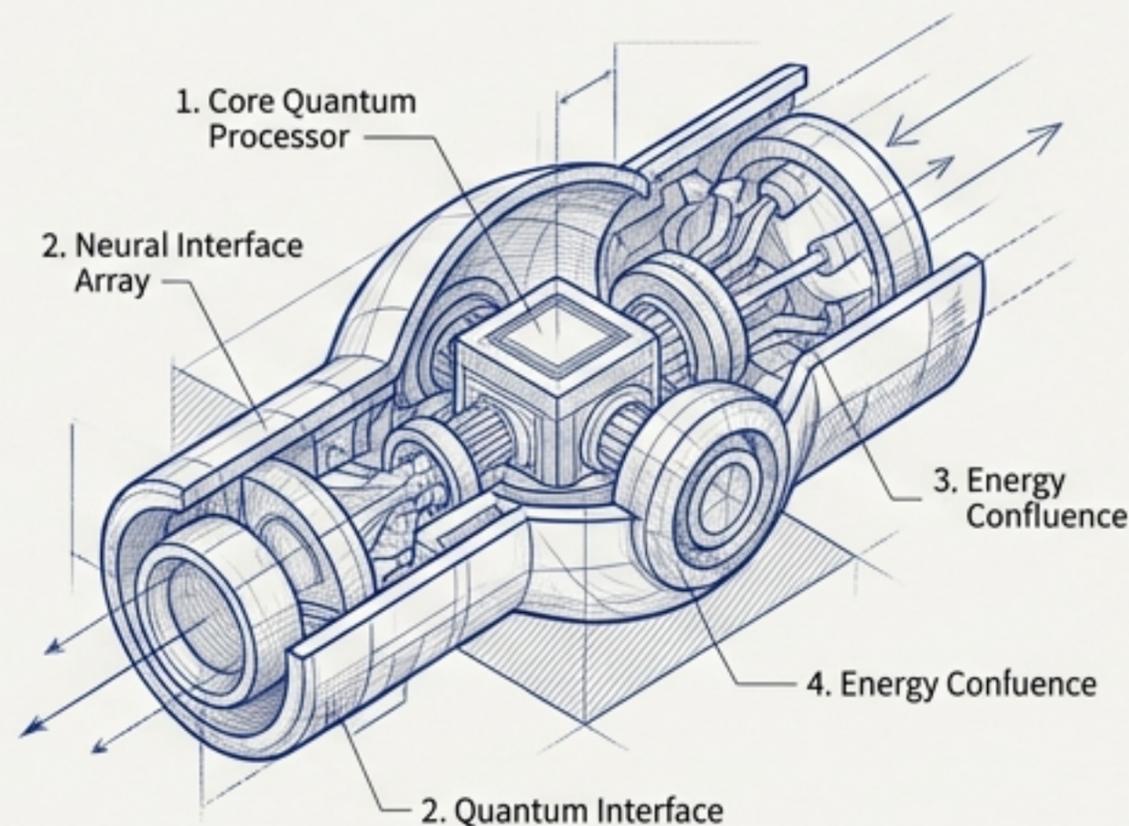
推論モデルは、単なる検索ではなく、審査官の論理展開をシミュレートし、反論ロジックを構築する。

# Handling Novelty: 未知の技術への「ゼロショット」適応

## RAW INVENTION



## STRUCTURED MODEL

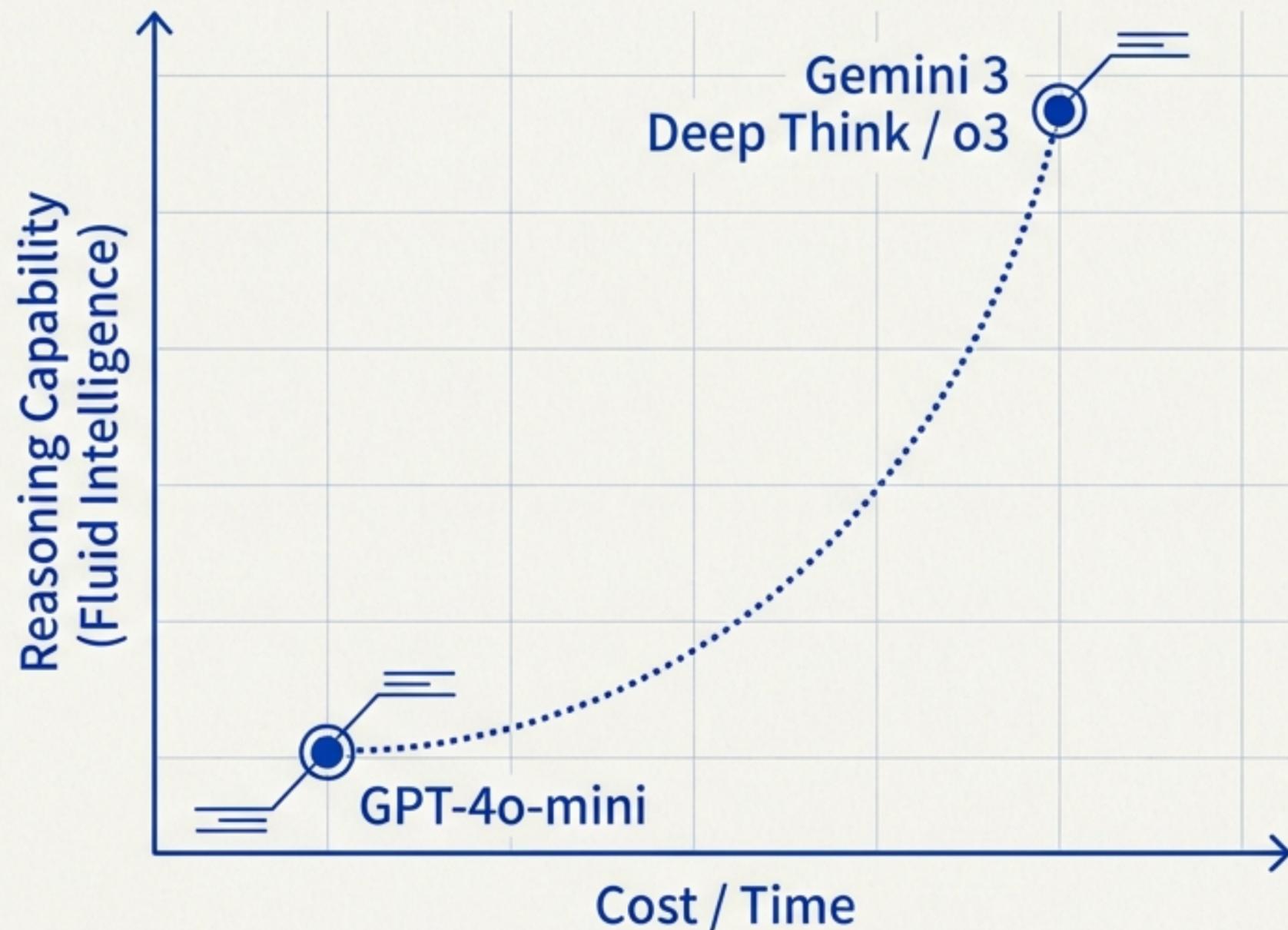


学習データにない「世界初の発明」をどう扱うか？

- 流動性知能は、過去のデータのパッチワーク（結晶性知能）ではなく、発明者からのヒアリング（コンテキスト）のみで、その場で新しい概念モデルを構築する。

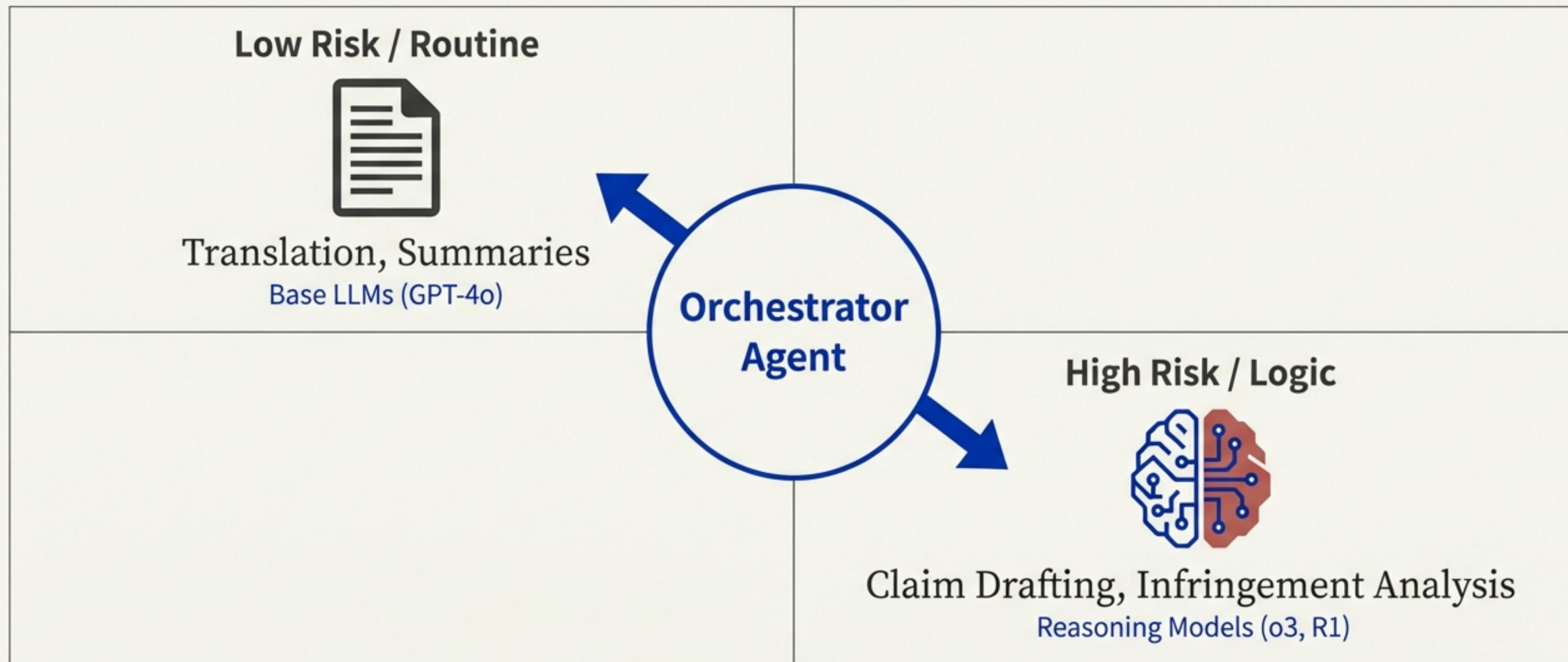
真のイノベーションを権利化するための言語化能力。

# The Economic Dilemma: 知能のコスト



A/E Ratio (Accuracy per Energy).  
推論モデルは汎用モデルに比べ、  
コストと時間が数倍～数十倍かかる。  
すべてのタスクに最高性能モ  
デルを使うのは経済的自殺行為で  
ある。

# Implementation Strategy: AIの「適材適所」 (Multi-homing)



タスクの難易度を判定し、適切なモデルに振り分けるシステム設計が必須。

# Conclusion: 「ライター」から「パートナー」へ



- **Language to Reasoning:** 言語生成から論理検証へのシフト。
- **Compliance:** 弁理士法75条の遵守。AIは人間を代替せず、拡張する。
- **Call to Action:** 「コスト」と「リスク」を天秤にかけ、最適なモデルを選択する人間こそが、競争優位を持つ。